

○ 1次選定条件項目及び選定結果

1. 1次選定手順

1次選定では、広域ネガティブマップ、広域ポジティブマップを作成し、その重ね合わせにより候補地域を選定する。ここでは本地域全体を約2km四方の99地区のメッシュに分割し、この中から複数の候補地域を抽出する。なお、新設する汚泥再生処理センターは本市内に建設予定としているため、候補地域から鋸南町は除くこととする。

1次選定実施手順は、図4-1のとおりである。

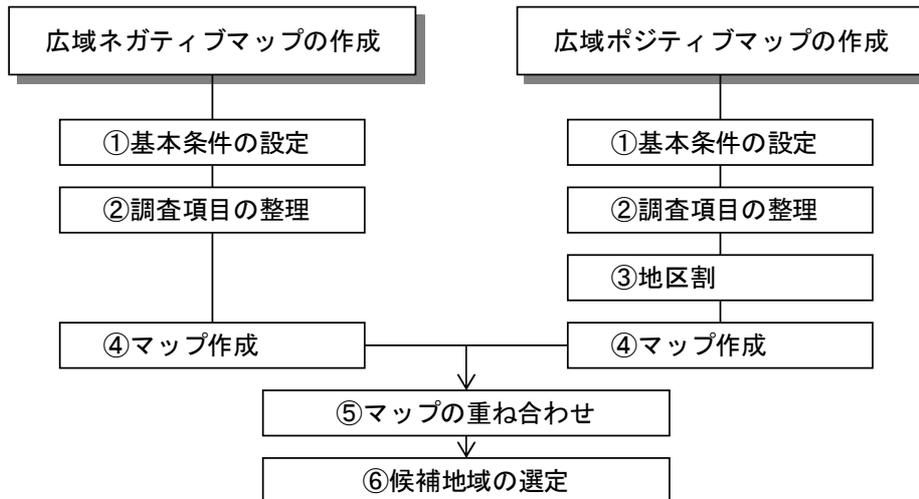


図4-1 1次選定実施手順

2. 広域ネガティブマップの作成

○ 広域ネガティブマップの作成における基本条件

1) 自然環境を保全すべき地域は候補地から除外

自然環境の保全に配慮し、自然公園地域、森林地域、保全地域、保護地区に指定されている地域を候補地から除外する。

2) 土地利用計画を図るべき地域は候補地から除外

土地利用計画に配慮し、市街地、レクリエーション施設の存在する場所等を候補地から除外する。ただし、農用地区域については本市内の平坦部の大部分を占めているため候補地から除外しないこととする。

3) 防災面で施設建設が望ましくない地域は候補地から除外

防災面に配慮し、急傾斜地又は地すべり危険地区等の防災規制がある地域、活断層（断層帯）付近の地域を候補地から除外する。

4) 国有施設等は候補地から除外

防衛省または独立行政法人が所有する土地を候補地から除外する。

3. 広域ポジティブマップの作成

○ 広域ポジティブマップの作成における基本条件

1) し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬が効率よく行える地域を優先的に選定

候補地選定にあたっては、し尿及び浄化槽汚泥処理経費の中で大きな割合を占めている収集運搬コストを極力低減できる地域を選定することが重要となる。したがって、本調査においては、本市において、し尿及び浄化槽汚泥の運搬が効率よく行える地域を優先的に選定する。

■ 運搬コストシミュレーション

本地域を標準地域メッシュに基づき、約 2km 四方の 99 メッシュに地区割し、鋸南町のみメッシュを除くメッシュの中心にし尿処理施設を建設すると仮定する。

次に、仮想し尿処理施設に 99 地区から発生するし尿及び浄化槽汚泥を搬入することとし、その場合に必要な総運搬コストを算出する。この運搬コストシミュレーションに基づき、広域ポジティブマップを作成する。

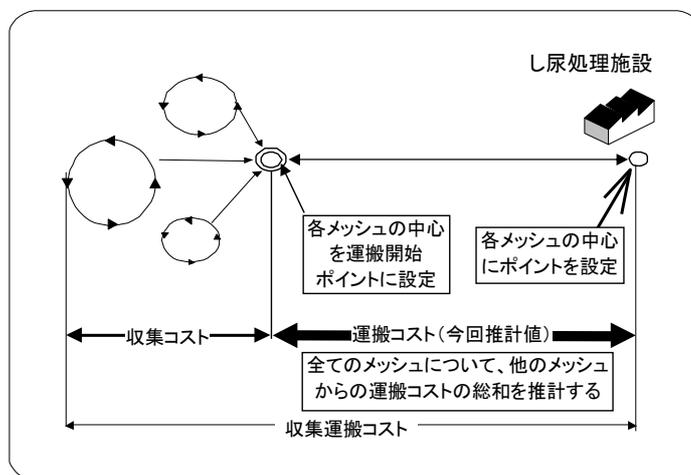


図4-2 運搬コストの推計方法

4. 1次選定結果

広域ネガティブマップと、広域ポジティブマップを重ね合わせたもので、コストシミュレーションの上位 10 のメッシュ内の広域ネガティブマップで候補地除外されないエリアを 1 次選定候補地とする。